

火災予防でいのちを守る

平成30年中の火災発生状況

問い合わせ 帯広消防局予防課(西6南6、消防庁舎3階、☎26・9124)

1年で33件の火災が発生

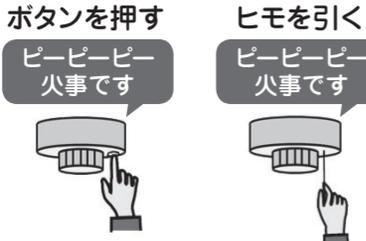
平成30年に帯広市内で発生した火災は33件で、前年と比べて1件増加しています。(表1)

出火原因の1位はこんろでした。火災の多くは、生活に身近なものが原因で発生しています。(表2)

住宅用火災警報器の定期点検と交換を

住宅用火災警報器は、内蔵電池の寿命が近づくと「ピー」という音が鳴ります。また、電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感じなくなることがあるため、とても危険です。半年に1回の点検と設置後10年を目安に、住宅用火災警報器を交換しましょう。

点検方法



正常であればお知らせするメッセージまたは警報音が鳴ります。音が鳴らなければ電池切れか本体故障の可能性があります。(メーカーにより異なります)

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

- 3つ ③・寝たばこをしない。
・ストーブは、燃えやすいものから離して使用する。
・こんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。
- 4つ ④・逃げ遅れを防ぐために住宅用火災警報器を設置する。
・寝具や衣類、カーテンなどによる火災拡大を防ぐために、防災品を使用する。
・初期消火のための住宅用消火器などを設置する。
・お年寄りや体の不自由な人を守るために、隣近所と協力体制をつくる。

表2 主な出火原因

出火原因	件数
1位 こんろ	5件
焼却炉	各3件
ストーブ	
電気機器	
2位 放火	各2件
たばこ	
3位 電灯・電話などの配線	各2件
溶接機・切断機	

表1 火災発生状況

	平成30年	平成29年	増減
火災件数(件)	33	32	1
建物火災	24	23	1
住宅	16	15	1
事業所など	8	8	0
車両火災	4	2	2
林野火災	0	0	0
その他火災	5	7	-2
野火	1	2	-1
工作物など	4	5	-1
死者数(人)	1	2	-1
負傷者数(人)	6	6	0

春の火災予防フェスティバル

子ども用防火衣を着て消防車から放水する消防士体験、煙体験ハウスによる煙疑似体験、はしご車や救急車と写真撮影ができるほか、住警レンジャーショーを行います。

日時 4月20日(土)、10時~12時
場所 イトーヨーカドー帯広店 東側駐車場(稲田町南8線)



不要ライター回収
子どもの火遊びをなくすため、玄関先での聞き取り調査です。必ず制服を着用し消防職員証を携帯しています。消防職員が住宅用火災警報器を販売することはありません。悪質な訪問販売には十分注意してください。



桜華分団による演劇の様子

住宅用火災警報器の訪問調査

設置状況の把握と、より効果的な普及啓発のため、無作為に抽出した住宅を消防職員が訪問調査します。

防火演劇の上演

帯広市消防団桜華分団の女性団員が、市内6カ所の幼稚園・保育所で「火遊びの防止」をテーマに演劇を上演し、火と煙の恐ろしさを伝えます。



忘れてない？サイフにスマホに火の確認

4月20日~30日 春の火災予防運動

問い合わせ 帯広消防署指導課(西6南6、消防庁舎1階、☎26・9131)

防火への意識向上のために、春の火災予防運動期間中に、さまざまなイベントや取り組みを行います。



救急車の適正利用にご協力ください

平成30年中の救急出動状況

問い合わせ 帯広消防署救急課(西6南6、消防庁舎1階、☎26・9132)

平成30年に帯広消防署の救急車が出動した件数は7630件で、前年に比べて189件増加、搬送した人数も123人増加の6766人で、いずれも過去最多を更新しました(図1)。1日当たり、約21件出動したことになります。

搬送者は軽症者が多い

近年、超高齢社会の進展などで救急需要が増大し、今後もさらなる救急出動件数の増加が予想されます。平成30年に救急車で搬送した人のうち、全体の半数以上の人が入院を必要としない「軽症」でした。(図2)

軽症者の中には、「どこの医療機関を受診すれば良いかわからない」「病院までの交通手段がない」などの理由で救急車を要請する事例もありました。救急車や救急医療は限りがあり

図1 出動件数・搬送人数

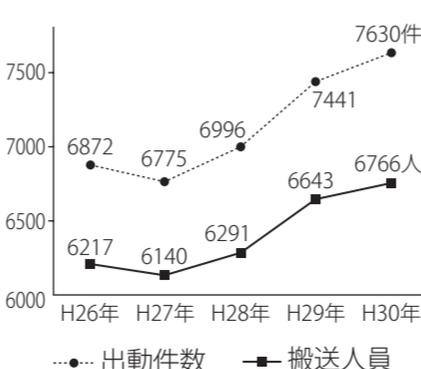
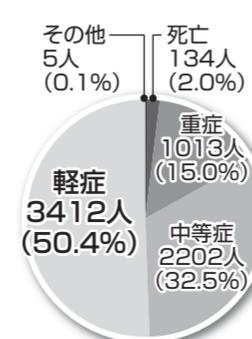


図2 搬送者の程度別割合



こんなときは迷わず119番

反応や呼吸がない、顔色が悪く呼吸が弱い、突然の激しい頭痛や胸痛を訴えているなどの状態は、生命に危険があります。このような場合は、ためらわずに119番通報をしてください。

休日や夜間などの医療機関が知りたいときは

帯広市急病テレホンセンター

☎ 26・1099

北海道救急医療情報案内センター

☎ 0120・20・8699

携帯電話からは

☎ 011・221・8699